

NYマーケットレポート（2014年4月10日）

昨晚のNY外国為替市場は、序盤に発表された米失業保険申請件数が2007年5月12日の週以来の低い水準となったことや、米輸入物価指数が4ヵ月連続のプラスとなったことを好感して、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなりました。そして、円が主要通貨に対して売られたことから、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなりました。その後、中国経済に対する懸念や、ウクライナ情勢の緊迫感などを背景に、米国株が下げ幅を拡大する動きとなり、安全資産とされる円を買う動きが優勢となりました。そして、円がすべての主要通貨に対して上昇する動きとなり、ドル円・クロス円は軟調な展開が続きました。また、米国債利回りが低下したことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなり、ドルは対円で3月19日以来の安値を付ける動きとなりました。また、ユーロは対ドルで3月19日以来の1.39台を付ける動きとなりました。

2014/ 4/10 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.73	102.14	101.64
EUR/JPY	140.99	141.55	140.78
GBP/JPY	170.64	171.64	170.54
AUD/JPY	96.05	96.22	95.69
EUR/USD	1.3859	1.3862	1.3841

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.78	101.43
EUR/JPY	141.15	140.60
GBP/JPY	170.79	170.16
AUD/JPY	96.20	95.69
EUR/USD	1.3879	1.3850

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14300.12	+0.43
ハンセン指数	23186.96	+343.79
上海総合	2134.30	+29.06
韓国総合指数	2008.61	+9.66
豪ASX200	5480.75	+16.97
インドSENSEX指数	22715.33	+12.99
シンガポールST指数	3203.58	-6.34

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6641.97	+6.36
仏CAC40	4413.49	-29.19
独DAX	9454.54	-51.81
ST欧州600	333.41	-1.75
西IBEX35指数	10336.10	-149.10
伊FTSE MIB指数	21429.09	-287.93
南ア 全株指数	48529.88	-238.00

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.53	101.98	101.34
EUR/JPY	140.98	141.37	140.76
GBP/JPY	170.41	170.98	170.10
AUD/JPY	95.58	95.88	95.46
NZD/JPY	88.19	88.67	88.06
EUR/USD	1.3888	1.3900	1.3853
AUD/USD	0.9413	0.9431	0.9400

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16170.22	-266.96
S&P500	1833.09	-39.09
NASDAQ	4054.11	-129.79
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	14308.00	-127.58
ブラ ボルサ指数	40447.96	-489.81
ブラ ボベスパ指数	51127.48	-57.92

4/11 経済指標スケジュール

08:50 【日】3月マネースtockM3
 08:50 【日】3月日銀金融政策決定会合・議事要旨公表
 08:50 【日】3月国内企業物価指数
 10:30 【中】3月消費者物価指数
 10:30 【中】3月生産者物価指数
 15:00 【独】3月消費者物価指数
 15:00 【スウェーデン】3月PES 失業率
 15:45 【仏】2月経常収支
 15:45 【仏】2月経常収支
 21:00 【ポーランド】2月経常収支
 21:00 【ポーランド】2月貿易収支
 21:30 【米】3月生産者物価指数
 22:00 【メキシコ】2月鉱工業生産
 22:55 【米】4月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1320.50	+14.60
NY 原油	103.40	-0.20
CME コーン	501.25	-1.00
CBOT 大豆	1482.25	-13.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.35%	0.36%
3年債	0.81%	0.83%
5年債	1.59%	1.63%
7年債	2.17%	2.22%
10年債	2.64%	2.69%
30年債	3.52%	3.57%

4/11 主要会議・講演・その他予定

・IMF世界銀行 春季会合～13日

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.66 ユーロ/円 140.98 ユーロ/ドル 1.3865

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6664.56	+28.95	ダウ INDEX FUTURE	16346	-14
仏 CAC40	4451.57	+8.89	S&P500 FUTURE	1863.10	-1.70
独 DAX	9535.57	+29.22	NASDAQ FUTURE	3587.25	-3.75

(出所: SBILM)

21:30

《 経済指標の結果 》

新規失業保険申請件数 30.0 万件 (予想 32.0 万件・前回 33.2 万件) 前回発表の 32.6 万件から 33.2 万件に修正

失業保険継続受給者数 277.6 万人 (予想 283.5 万人・前回 283.8 万人) 前回発表の 283.6 万人から 283.8 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

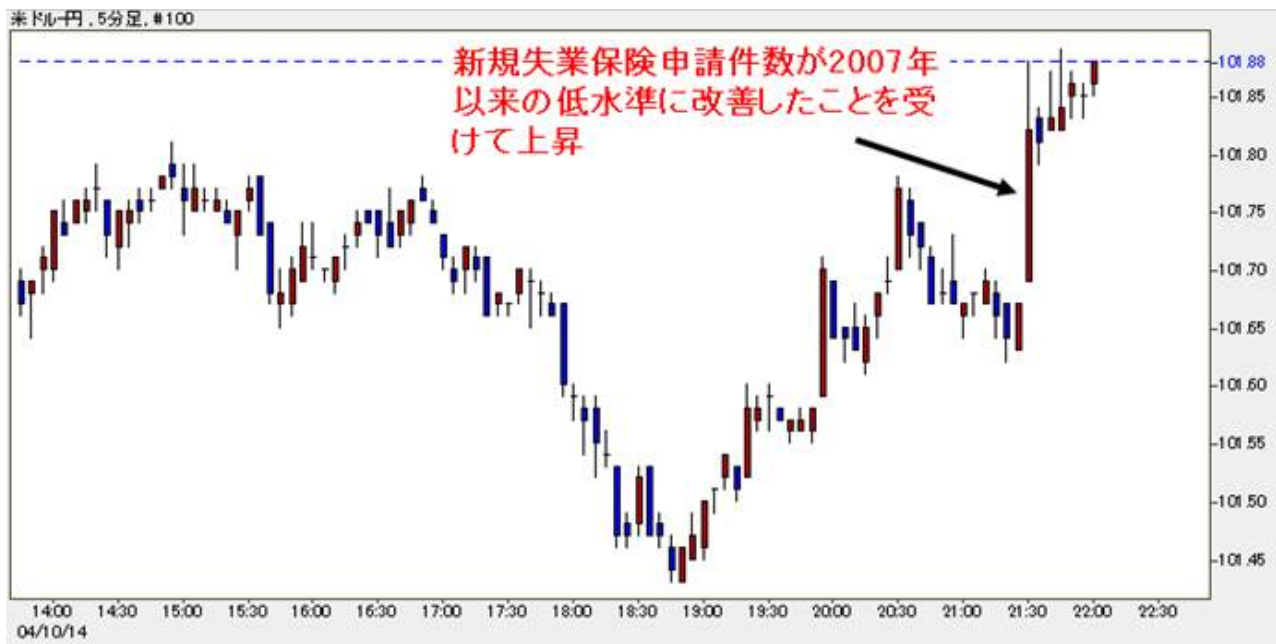
経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数 ・ ・ ・ 前週比 ・ ・ ・ 4 週移動平均 ・ ・ ・ 受給者数 ・ ・ ・ 受給者比率

14/04/05	300,000	-32,000	316,250	*****
14/03/29	332,000	+22,000	321,000	2,776,000 ・ 2.1%
14/03/22	310,000	-13,000	319,250	2,838,000 ・ 2.2%
14/03/15	323,000	+4,000	329,500	2,814,000 ・ 2.1%
14/03/08	319,000	-6,000	331,250	2,869,000 ・ 2.2%
14/03/01	325,000	-26,000	337,250	2,850,000 ・ 2.2%
14/02/22	351,000	+21,000	338,000	2,890,000 ・ 2.2%
14/02/15	330,000	-13,000	336,500	2,941,000 ・ 2.2%
14/02/08	343,000	+15,000	337,500	2,936,000 ・ 2.3%
14/02/01	328,000	-17,000	334,250	2,918,000 ・ 2.3%

受給者数は集計が 1 週間遅れる



(出所: ネットダニアー)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

3 月米輸入物価指数 (前月比) 0.6% (予想 0.2%・前回 0.9%)

3 月米輸入物価指数 (前年比) -0.6% (予想 -0.9%・前回 -1.2%) 前回発表の-1.1%
から-1.2%に修正



(出所: ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米輸出入物価》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
全輸入	0.6	0.9	0.4	0.1	-0.9	-0.6
石油	0.1	4.7	0.6	-0.2	-4.6	-3.6
非石油	0.6	0.1	0.3	-0.1	0.0	0.1
食品・飲料等	3.7	-0.7	0.6	0.5	-0.6	0.6
資本財	0.1	-0.3	0.1	-0.1	0.2	0.0
自動車・部品	0.0	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.0
消費財	0.0	0.1	0.7	-0.2	0.1	0.0

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
全輸出	0.8	0.7	0.3	0.4	0.2	-0.6
農業	2.7	1.4	-0.1	0.3	-0.2	-1.3
非農業	0.5	0.6	0.4	0.4	0.1	-0.5
食品・飲料等	2.7	1.2	-0.4	0.5	-0.1	-1.3
資本財	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1	-0.1
自動車・部品	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.0	0.3
消費財	0.3	-0.4	-0.1	0.1	0.3	0.1

21 : 30

《 経済指標の結果 》

2月カナダ新築住宅価格指数（前月比） 0.2%（予想 0.1%・前回 0.3%）

2月カナダ新築住宅価格指数（前年比） 1.5%（前回 1.5%）



(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

《 要人発言 》

IMF 専務理事

- ・「日本に労働市場改革の工程表を求める意向だ」
- ・「安倍政権の第一の矢は実行された」

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16421.12	-16.06
ナスダック	4176.23	-7.67

(出所 : SBILM)

23 : 20

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米失業保険申請件数が市場予想より少なかったことを好感した買いが入る一方、前日にダウ平均が大幅上昇したことによる利益確定売りが出るなど、主要株価は序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比-3.2 万件の 30.0 万件となり、2007 年 5 月 12 日までの週以来の低い水準となった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-4750 人の 31 万 6250 人で 2013 年 9 月 28 日までの週以来の低い水準となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-6.2 万人の 277.6 万人と、2008 年 1 月 19 日までの週以来の低水準となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-1 万 8500 人の 282 万 4250 人で、2008 年 2 月 9 日までの週以来の低水準となった。また、受給者比率は、前週比 0.1 ポイント低下の 2.1%となった。

(2) 3 月の米輸入物価指数は、前月比+0.6%となり、4 カ月連続でプラスとなった。

①石油は前月比で+0.1%、前年同月比で-2.4%。石油以外の品目は前月比+0.6%、前年同月比で+0.1%となった。原油が+1.3%、食品は+3.7%と 2011 年 3 月以来の大きな上昇率、天然ガスは+21.7%。

②国・地域別では、カナダが+1.7%、EU が+0.1%、メキシコを含む中南米が+0.4%、日本は+0.1%で 2012 年 10 月以来のプラスとなったが、中国は-0.1%となった。

③輸出物価は、前月比+0.8%、前年同月比では+0.2%となった。前月比で農産物は+2.7%、前年同月比で-1.6%の下落となった。農産物以外の品目は、前月比で+0.5%、前年同月比で+0.4%となった。

23 : 40

《 要人発言 》

欧州委員会のデフット委員（通商担当）～記者団に

- ・「ユーロは高過ぎて経済に悪影響をもたらしている」
- ・「1 ユーロ＝1.20 ドルあたりに下がれば望ましい」
- ・「1 ユーロ＝1.40 ドルは経済の現状を反映していない」
- ・「どのような役割を演じるかは ECB 次第だが、ユーロが下がれば輸出にとってプラスだ」

0 : 00

米主要株価が下げ幅を拡大し、リスク回避の円買いが強まり、ドル円・クロス円は軟調な展開が続いている。また、米 10 年債利回りも低下している。



(出所:ブルームバーグ)

《 海外の話題 》

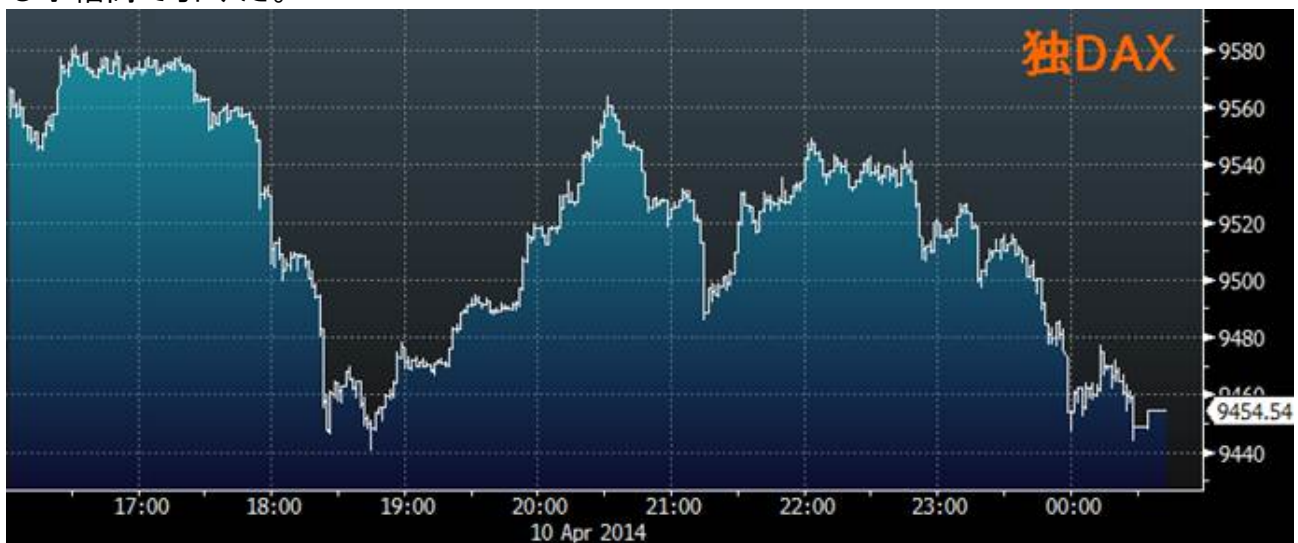
ロシアのプーチン大統領が、ロシア産天然ガスを輸入している欧州各国の首脳宛に書簡を出し、ウクライナのガス代金未払いが原因で欧州へのガス供給が困難になりつつあると警告した。近くウクライナ経由のガス供給を止める可能性もあるとみられる。大統領報道官によると、ウクライナの未払い問題でロシアからのガス供給に懸念が生じているという認識を示した。ウクライナはガス代金 20 億ドル（約 2000 億円）以上を滞納している。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6641.97	+6.36
仏 CAC40	4413.49	-29.19
独 DAX	9454.54	-51.81
ストック欧州 600 指数	333.41	-1.75
ユーロファースト 300 指数	1331.04	-7.08
スペイン IBEX35 指数	10336.10	-149.10
イタリア FTSE MIB 指数	21429.09	-287.93
南ア アフリカ全株指数	48529.88	-238.00

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。中国やユーロ圏の経済指標の内容を嫌気した売りに押され、主要株価は上値の重い展開が続いた。そして、米国株価下げ幅を拡大したことを受けて、独 DAX はマイナス圏まで下落。英 FT100 は、引け間際にやや値を戻し小幅高で引けた。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16329.26 (-107.92)、S&P500 1857.81 (-14.37) ナスダック 4098.34 (-85.56)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、FOMC 議事録を受けて早期利上げ観測が後退したことが引き続き支援材料となり、買いが先行した。また、米国株の下落につれて、安全資産とされる米国債に資金を振り向ける動きも広がった。

午前の利回りは、30 年債が 3.53% (前日 3.57%)、10 年債が 2.65% (2.69%)、7 年債が 2.19% (2.22%)、5 年債が 1.60% (1.62%)、3 年債が 0.82% (0.83%)、2 年債が 0.36% (0.36%)。

《欧州のポイント》

- ①ECB は月次報告で、低インフレが過度に長期化するようなら行動を取る用意があると改めて表明した。月報は通常、前週の理事会後の会見でドラギ総裁が読み上げた政策声明とほぼ同一となる。ECB は「極めて緩和的な政策を維持し、必要ならば迅速に行動する決意だ」とした。その上で、「低インフレが過度に長期化するリスクに効果的に対処するため、理事会は責務の範囲内で非標準的措置も活用する決意で一致している」と表明した。
- ②アイルランドは、10 年債入札で 10 億ユーロ（14 億ドル）を調達した。利回りは 2.917% となり、金融支援脱却後初の 10 年債入札となった先月に付けた過去最低記録 2.967% を下回り、再び記録を更新した。応札倍率は 2.8 倍だった。次回入札は 5 月 8 日実施予定。
- ③ギリシャ財務省は、5 年債 30 億ユーロ（約 4200 億円）を発行し、政府の当初計画を上回ると結果となった。ギリシャが市場で国債を発行するのは 2010 年 3 月以来、約 4 年ぶりとなり、表面利率 4.75% と予想を下回った。550 を超える投資家から 200 億ユーロ超の申し込みがあった。ストウルナラス財務相は、「われわれは今日、4 年ぶりに債券市場に復帰する」、「実体経済からは勇気付けられる回復の兆候が見られる」と述べた。ただ、今後の発行計画は未定で、自力で資金調達を続けられるかは不透明。
- ④イタリアが実施した 1 年物国債入札は、需要が堅調で利回りが過去最低水準に低下した。2015 年 4 月償還債の平均利回りは 0.589%（前回 0.592%）、応札倍率は 1.4 倍（前回 1.5 倍）となり、ユーロ導入後の最低水準を更新した。調達額は、75 億ユーロ（100 億ドル）。明日は最大 72 億 5000 万ユーロの 3、7、30 年債入札を実施する予定。
- ⑤英中銀は、9 日に MPC（金融政策委員会）を開き、政策金利であるレポ金利を過去最低の 0.50% に据え置いたと発表した。また、資産買い取りプログラムの規模も 3750 億ポンド（約 64 兆 円）で維持した。今月の MPC は、一部メンバーがワシントンの IMF 春季会合に出席するため、通常 2 日にわたる協議を 1 日に短縮して 9 日のみ開かれた。

《ここまでの動き》



- ①中国の3月貿易収支で、輸入、輸出ともに前年同月比で予想外にマイナスとなったことを受けて、中国経済の先行き不透明感が広がったことから、リスク回避の円買いが優勢となった。
- ②その後、円買いも一巡して値を戻す動きとなった。そして、NY市場では、米失業保険申請件数が2007年5月12日の週以来の低い水準となったことや1、米輸入物価指数が4ヵ月連続でプラスとなったことを好感して、USD/JPYは101.98まで上昇する動きとなった。
- ③中国経済の先行き懸念や、ウクライナ情勢の不安感が再び材料視され、株価が下げ幅を拡大する動きとなった。特にナスダックの下げが大きく、主要株価を先導する形となった。また、米10年債利回りが低下となり、リスク回避の動きが強まったことから、USD/JPYは101.34まで下げる動きとなった。

2:00

《米財務省 30 年債入札》

最高落札利回り・・・3.525%（前回 3.630%）
 最低落札利回り・・・3.430%（前回 3.500%）
 最高利回り落札比率・・・27.57%（前回 92.15%）
 応札倍率・・・2.52倍（前回 2.35倍）

2:25

FRBは、ニューヨーク連邦準備銀行を通じた公開市場操作により、32.23億ドルの米長期国債の買い取りを実施した。

3 : 00

《 経済指標の結果 》

3 月米財政収支 -369 億 USD (予想 -360 億 USD・前回 -1065 億 USD)



3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 14.60 ドル高の 1 オンス=1320.50 ドルで取引を終了した。

4 : 15

NY 原油は、中心限月が前日比 0.20 ドル安の 1 バレル=103.40 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1320.50	+14.60
NY 原油	103.40	-0.20

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

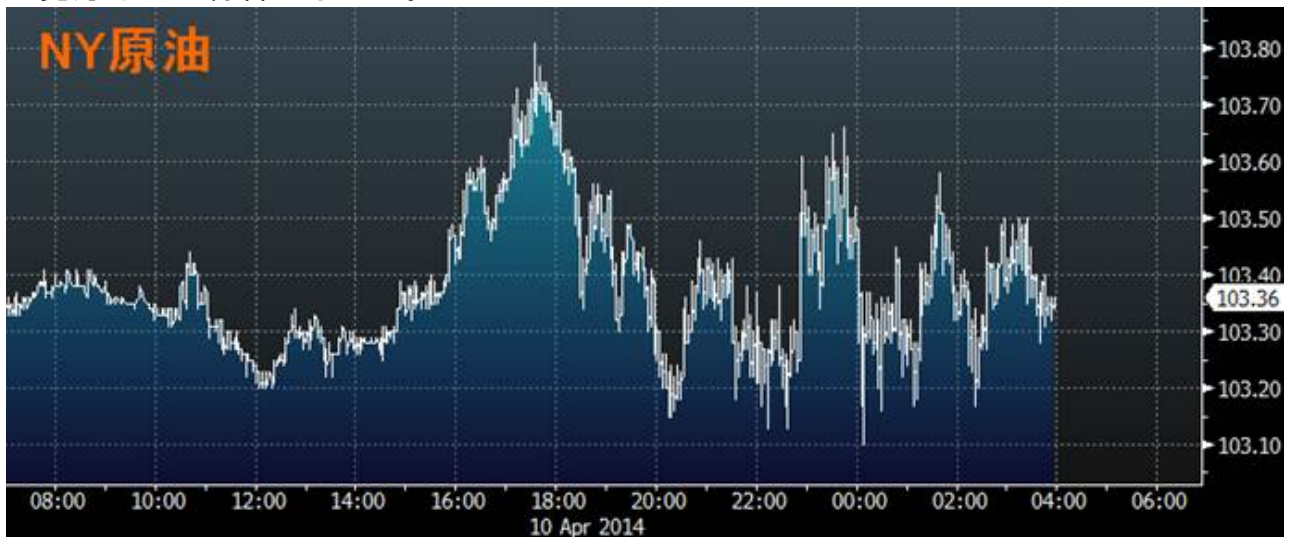
NY 金は、前日に公表された FOMC 議事録を受けて、FRB が利上げに慎重との見方が広がったことから堅調な動きとなった。また、米国株の大幅下落を背景に、金に資金を避難させる動きも広がり、終値ベースでは、3 月 21 日以来、約 3 週間ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、前日まで続伸した反動で利益確定売りが優勢となった。また、中国の 3 月の輸出が振るわず、景気の減速懸念が強まったことや、リビアの原油輸出が回復するとの見方も圧迫材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16170.22	-266.96	16456.12	16153.34
S&P500 種	1833.09	-39.09	1872.53	1830.87
ナスダック	4054.11	-129.79	4182.61	4042.76

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米失業保険申請件数が市場予想より少なかったことを好感した買いが入る一方で、前日にダウ平均が大幅上昇したことによる利益確定売りも出るなど、主要株価は序盤から売り買い交錯する展開となった。しかし、中国経済やウクライナ情勢に対する懸念から下げ幅を拡大する動きとなり、主要株価は大幅安となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な展開が続き、終盤には一時前日比で 283 ドル安まで下落する動きとなった。ナスダックは前日比 3%以上、SP500 も 2%以上下落となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.53	101.98	101.34
EUR/JPY	140.98	141.37	140.76
GBP/JPY	170.41	170.98	170.10
AUD/JPY	95.58	95.88	95.46
NZD/JPY	88.19	88.67	88.06
EUR/USD	1.3888	1.3900	1.3853
AUD/USD	0.9413	0.9431	0.9400

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が堅調な結果となったことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な展開となった。しかし、その後、米主要株価が下げ幅を拡大する動きとなったことから、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。円が大半の主要通貨に対して上昇となり、ドル/円は3月19日以来の安値を付ける動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。